



第47号

発行者 増 淵 忠 行
 発行日 令和4年12月15日
 発行所 栃木県立大田原高等学校
 紫 塚 同 窓 会
 印刷所 川 上 印 刷 所

創立120周年 二度目の還暦を迎えて

紫塚同窓会 会長 増淵 忠行 (高16回)



今年の干支は壬寅（みづのえとら）。この干支には「新しく立ち上がり、生まれたものが成長する」、「新しいものが飛躍的に成長する年」といった縁起のいい年だと考えられています。

120年前の明治35(1902)年(壬寅)に「質素堅実」を校訓に栃木県立大田原中学校が生まれました。栃木県北に新しい県立中学校が誕生したのです。

そして一度目の還暦は昭和37(1962)年(壬寅)ですが、その60周年を迎える1年前(昭和35年1月)に「創立60周年記念講堂兼体育館」の落成式典を兼ねて祝われました。創立60周年の年は私が高校2年生の時、記念行事として創立60周年記念ピアノ披露演奏会と、校庭で自衛隊音楽隊の演奏会が挙行され、鮮明に思い出されます。

一度目の還暦は、私たちなりの飛躍の年だったと思っています。

ところで、2020年の年明けから covid-19 によるパンデミックで対面での諸行事が制限されましたが、今年度は伝統行事に定着した「強歩」や「大高祭」が3年ぶりに復活しました。3年生も体験したことのない行事で戸惑いもあったでしょうが、現代版「質素堅実」の精神で見事に実施されました。さらに、SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)認定校として、見事な活動をされています。直近ニュースによりますと、全国10校しか選ばれない「ポスター賞」を受賞され、物理グランプリ100名に現役生徒が選ばれるなど素晴らしいニュースが飛び込んでまいりました。

120年前に掲げられた質素堅実の精神は現代版に進化していますが、二度目の還暦が、着実に堅実に発展している母校を物語っていると思います。同窓の皆さん、120周年をお祝いし、物心両面から母校を支えましょう。

引き続きご支援、ご協力のほど、よろしく願い致します。

「大高創立120年」

栃木県立大田原高等学校長 植木 淳(高33回)



依然としてコロナ禍が続いており、様々な行動制限が課せられ続けています。一方で、社会では、感染症対策を施した上で、様々な行事が2年ぶり、3年ぶりに開催されるなど、人々の行動は活性化され社会が

動きつつあると感じています。

本校においても、5月には3年ぶりの強歩を実施することができました。今在学しているすべての生徒にとって初めての強歩であり、3年生に至っては最初で最後の強歩となりました。しかし、歩行時、そして、食事・休憩時の密を避けるなど感染症対策のために、学校から湯の香しおばらまでの35キロと距離を短縮し、さらに、学年毎にスタート時間をずらしての実施といたしました。歩き終えた生徒たちからは「やっと強歩を経験できた」「できれば85キロを歩いてみたかった」との言葉があり、これも実施できたからの言葉だと感じました。実施に際しては紫塚同窓会の皆様をはじめ、保護者、地域の皆様など多くの方々の多大なる御支援をいただき、大きな事故もなく無事に終了することができました。御支援、御協力、本当にありがとうございました。次年度以降の85キロでの実施に向けて、学校でもさらに検討を重ねて参りますので、より一層の御支援を賜りますようお願いいたします。

そして、9月にはこれも3年ぶりとなる「大高祭」を、人数制限はしたものの一般客をお迎えして実施いたしました。大高祭もすべての生徒にとって初めての行事でしたので心配もありましたが、生徒たちの活気ある行動と、創造性溢れるアイデアにより、今までの大高祭に引けをとらないものとなりました。

大高らしい大きな行事の実施を通して、学校行事の大切さと、生徒たちの熱い思いを改めて感じることができました。行動制限という不自由な状況においても、その不自由さを我がものとし、創造性を発

(次頁に続く)

揮し、そこに情熱を傾ける大高生に無限の可能性を感じることができました。

少しずつ動き始めた今年度、大高は創立 120 周年を迎えました。明治 35 (1902) 年に創立した本校は、人間で言えば、2 回目の還暦、大還暦にあたります。この間、数多の激動の時代を乗り越え、社会に多くの有為な人材を輩出してきた背景には、生徒、教職員、保護者の努力はもちろん、地域の方々の御支援、そして何より紫塚同窓会の皆様の御支援、御協力を欠かすことはできません。特に、現在取り組んでいる SSH の活動においては、同窓生の方々なしには考えられないほど、お力添えをいただいております。本当に有難く、そして、頼もしい限りです。今後とも、母校大高の発展とそして後輩のために御支援いただければ幸いに思います。

最後になりましたが、平成 29 年 3 月 27 日に発生した那須雪崩事故に際しましては、紫塚同窓会の皆様から物心両面に渡る様々な御支援を賜り、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。特に今年は御遺族と協議しながら、完全な形ではないものの慰霊碑を建立することができました。今後も事故の教訓を忘れず、また、コロナの感染防止対策を徹底し、安全、安心な学校づくりを推進しながら、生徒一人一人のさらなる成長につなげていきたいと考えております。

2021・2022 事業報告

第3回正副会長監事会

日 時：令和 4(2022) 年 1 月 24 日(月)
会 場：大高会議室
参加者：増淵会長以下役員

○常任理事会を前に懸案事項の打合せを行う。

常任理事会

日 時：令和 4(2021) 年 3 月 11 日(金)
18:00 ~
会 場：大高会議室
参加者：池嶋副会長以下役員 7 名、常任理事 2 名、植木校長以下学校職員 3 名

○議長は令和 3 年度十年会該当年次の高 33 回相馬達夫氏が務め、議事内容は令和 3 年度事業報告及び一般会計・特別会計中間報告、令和 4 年度事業計画案・予算案、十年会の該当年次案が各担当副

会長から示された。

○なお、議事に入る前に議長から本日の常任理事会は、6 月同窓会総会への議事提案の内容協議、そして新型コロナ対応により書面決議であることを告げ、常任理事会資料は事前に紫塚同窓会 HP からの閲覧、または同窓会事務局(学校)での配布によるものとし、意見・質問の受付期間を設け、特にない場合は承認とみなすことを予め常任理事の方々への案内葉書にて示したことを確認した。その結果、議長は議事内容について受付期間中事務局に寄せられた反対はなかったことを事務局に確認し、議事は原案とおりに承認されたことを告げ、閉会とした。高 33 回常任理事 2 名の方々には議長と議事録署名人として実参加いただき、お世話になった。

第 74 回同窓会入会式

日 時：令和 4(2022) 年 2 月 28 日(月)
会 場：大高第一体育館
参加者：増淵会長

○本年度の卒業生は 236 名である。創立以来の卒業生は、旧制中学(第 1 ~ 44 回)時代に 3,806 名、併設中学校の第 1 回・第 2 回で 50 名、高等学校は普通科(第 1 ~ 73 回)と商業科(第 1 ~ 48 回)を併せて 21,684 名であり、それらの総数は 25,776 名にのぼる。

○同窓会長は式辞で紫塚同窓会への入会歓迎の言葉を述べ、続いて年次委員 12 名の委嘱を行った。年次委員を代表して、坂入技道君(三島中出身)が同窓会入会の宣誓を行った。そして新しく同窓会会員となる卒業生全員に、同窓会入会の記念品として卒業証書ホルダーを贈呈した。

○また、同窓会長より河畑壯太君(日新中出身)に紫塚奨学団賞が授与された。河畑君は学業で優秀な成績を修めるとともに、部活動では、創設時より英語部部长として部員確保に努め、活動を軌道に乗せるのに尽力した。SSH 課題研究では、学年最優秀賞を獲得した。また、英語において科学部をサポートし、他校で開かれた SSH 研究発表大会で英語でプレゼンする等、多方面において充実した高校生活を送り、難関大の国際教養大学に進学した。

第120回創立記念式典

日時: 令和4(2022)年4月19日(火)
会場: 大高体育館
参加者: 増淵会長以下役員、生徒、教職員

○大高の創立記念日にあたる4月19日(火)、在校生、教職員、同窓会役員が列席し、厳かな雰囲気の中第120回創立記念式典が挙行された。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2,3年生が体育館に入場し、1年生はホームルームにてズームによるリモート参加であった。



本物の「花」を咲かせてほしい

紫塚同窓会監事 大木 聡(高43回)

第120回創立記念式典にて、高野淑識氏(高46回)に「地球宇宙化学の探求～「夢」を書け、語れ。それは、現実になる。」と題した御講演をいただいた。

高野氏は、本校卒業生であるが、まず、その職業と経歴に驚かされる。「地球宇宙化学者」であり「JAMSTEC(文部科学省所管・国立研究開発法人海洋研究開発機構)センター長代理」で上席研究員。博士。また、「NASA(米国航空宇宙局)招聘研究員」も兼務されている。しかも、あの「小惑星リュウグウ」からサンプルを採取し帰還した「はやぶさ2」のプロジェクトメンバーである。

科学の世界に詳しくない当方でも分かる世界的権威の機関の御活躍をされている方であるが、最も驚愕したのは、このような凄い経歴を持つ氏が、後輩に当たるといことである。在校生たちにとっては父親世代でもあるため、より親近感を持って聴いている様子が伺えた。

冒頭「興味があることを続けていたら今に到る」と、自身の興味ごとは幼稚園の卒園アルバムでも確認できたと紹介され、「好きこそ、ものの上手なれ。」「鉄は、熱いうちに打て。」と、継続することの大切

さと、様々なことに興味関心を持つ今こそが物事に取り組む最良なときであると話された。

「南極観測隊(第47次・2005～2006年)」にも参加され、更には、現地で話をした隊員が、偶然にも本校同窓生(矢吹正教博士(高45回))であり、二人で「紫塚同窓会@昭和基地」を行ったという、「偶然の出会い」についてもお話いただいた。

「外国語」を知ることは、「母国語」を深く理解することである」と、今は受験科目の一つとして学習している英語なども、単に語学として学ぶのではなく、日本人として日本語を大切にすることの大切さや、「一度きりの人生、得意なことを思いっきりやろう」とお話しいただいた。

質問の時間も盛り上がり「文系であっても宇宙化学の仕事はある」、「自己肯定感を高めることが重要」とお答えいただき、柔道の試合には、好きな映画音楽を聴いて「自分は負けない」と自己暗示に近い状態で臨んだといった体験談も話された。

「夢」を書け、語れ。やがて、現実になる。」「百花繚乱・百二十花繚乱」「本物の「花」を咲かせてほしい」と、後輩たちへ向けて熱いエールが贈られた。

監査

日時: 令和4(2022)年5月12日(木)
会場: 大高小会議室
参加者: 増淵会長、副会長(財務担当)、
監事、職員

○大橋保・大木聡監事が監査を実施する。

第1回正副会長監事会

日時: 令和4(2022)年4月22日(金)
会場: 大高会議室
参加者: 増淵会長以下役員、植木校長等

○総会進行、役割分担について検討する。

○新型コロナウイルス感染拡大による令和4年度同窓会行事の開催可否を検討する。

総会・懇親会

日 時：令和 4(2022) 年 6 月 4 日(土)
15:00～

会 場：大田原温泉ホテル龍城苑
参加者：増淵会長以下役員、会員、植木校
長以下担当教職員 58 名

○増淵会長、植木校長からの挨拶があり、その後ご出席いただいた 4 名の栄典者：令和 3 年秋の叙勲君島健二様、秋の褒章古内薫様、当選者の福島泰夫那珂川町長、相馬憲一大田原市長からご挨拶をいただいた。



○総会の議長は令和 4 年度十年会該当年次の高 34 回渡邊康成氏が務め、議事に入った。令和 3 年度事業報告、一般会計・特別会計決算報告、令和 4 年度事業案・予算案が原案通り承認された。また、新型コロナ感染拡大により開催できなかった令和 2 年・3 年度の十年会該当年次の扱いについて、過去 2 年の十年会最終学年となる高 1 2 回・高 1 3 回年次のみ令和 4 年度の十年会該当年次に含めて開催し、その他の年次については中止とすることを心苦しくも提案し、承認された。

○報告事項の中では令和 4 年度創立 120 周年記念事業・予算について報告された。

○支部報告では、首都圏紫塚同窓東京会から桑原裕会長、宇都宮会から高久均事務局長、矢板支部から齊藤淳一郎常任理事(矢板市長)、小川支部か

ら川上真澄常任理事からそれぞれ会の近況報告があった。

○なお、総会後の懇親会については新型コロナ感染予防のため中止とした。



〈総会出席年次〉

高 9 回・10 回・11 回・14 回・15 回・16 回・
17 回・20 回・21 回・22 回・23 回・24 回・
26 回・28 回・29 回・30 回・31 回・32 回・
33 回・34 回・35 回・36 回・40 回・43 回・
51 回・55 回・56 回・61 回



車 田 医 院

車田孝夫 (高 3 回卒)

車田宏之 (高 32 回卒)

栃木県大田原市大豆田 457-24

TEL 0287-54-0062

宗 教 法 人

大田山光真寺

住 職 黒田泰弘 (高 35 回)

〒324-0051

栃木県大田原市山の手 2-11-14

TEL 0287-2 2-2 0 3 3

乾燥・塩漬・酢漬唐辛子、葉唐辛子佃煮製造



YOSHIOKA

吉岡食品工業株式会社

吉岡博美 (高 20 回)

宍倉秀一 (高 47 回)

池田暁洋 (高 51 回)

本社 〒324-0051

栃木県大田原市山の手 2-16-10

TEL 0287-23-5555 FAX 0287-23-5557

宇都宮紫塚同窓会

会長 青木 勲 (高 9 回)

事務局 〒320-0833

宇都宮市不動前 1-3-14

北関東総合警備保障(株)内

TEL:028-639-0300

FAX:028-639-0397

◆◆令和3年度一般会計決算報告◆◆

○収入 【単位：円】

前年度繰越	3,833,317	繰越金
入会金	2,270,000	入会終身会費
寄付金	196,740	寄付金
雑収入	377,907	会報広告費・利息等
合計	6,677,964	

○支出

創立記念費	81,460	講師謝礼等
総会費	135,354	案内葉書等
十年会費	0	案内状郵送費等
霜月懇和会費	0	
広報費	508,606	印刷・郵送費
卒業褒賞補助	100,000	証書ホルダー代
母校活動補助	587,935	母校教育活動補助
支部会等補助	20,220	支部会への補助
慶弔費	17,220	祝金・香典等
餞別費	60,000	教職員への餞別
旅費	0	交通費
会議費	3,815	会議等経費
通信費	22,444	案内葉書等
消耗品費	260	消耗品費等
雑費	9,928	郵便振替手数料
予備費	0	
合計	1,547,242	

◆◆令和3年度特別会計決算報告◆◆

収入額	21,751,686	繰越金、利息、名簿売り上げ
支出額	10,000,000	創立120周年記念講座へ
現在高	11,751,686	

◆◆日光杉並木保護基金◆◆

日光杉並木オーナー	10,000,000
-----------	------------

◆◆令和4年度事業計画◆◆

(前出の事業は除く)

10・1月 正副会長監事会
 2月下旬 常任理事会
 2月28日(火) 同窓会入会式(高74回)

◆◆令和4年度一般会計予算◆◆

○収入

前年度繰越	5,130,722	繰越金
入会金	2,360,000	入会終身会費
会費	10,000	会員終身会費
寄付金	10,000	寄付金
雑収入	300,000	会報広告費等
合計	7,810,722	

○支出

創立記念費	150,000	講師謝礼等
総会費	150,000	案内葉書等
十年会費	600,000	案内状郵送費等
霜月懇和会費	60,000	案内状郵送費等
広報費	800,000	印刷・郵送費
卒業褒賞補助	100,000	証書ホルダー代
母校活動補助	600,000	母校教育活動補助
支部会等補助	500,000	支部会への補助
慶弔費	130,000	祝金・香典等
餞別費	100,000	教職員への餞別
旅費	250,000	交通費
会議費	20,000	常任理事会経費
通信費	100,000	案内葉書等
消耗品費	20,000	消耗品費等
雑費	30,000	郵便振替手数料
予備費	4,200,722	
合計	7,810,722	

建築家からの提案
「人と環境にやさしい建物」

有限会社 **和泉設計**
 代表取締役 和泉卓哉(高22回)

〒329-2703
 栃木県那須塩原市槻沢 322-9
 TEL 0287-37-4871
 FAX 0287-37-4872
<http://www.izumi-architects.com/>

焼肉レストラン
元祖チキンハウス

代表取締役 氷見 和樹(高47回)
 専務取締役 氷見 登(高49回)

有限会社 **チキンハウス**
 〒329-2712 那須塩原市下永田 2-1020-3
 TEL. 0287-36-1038

 **小林内科外科医院**

小林 伸久(高33回)
 〒324-0028
 大田原市富士見 1-1606-265
 TEL 0287-23-8870

ISO-9001・ISO-14001 認証取得

 **総合設備業**
大橋総設工業株式会社

代表取締役 大橋 保(高29回)
 常務取締役 大橋 知明(高59回)

〒324-0057 栃木県大田原市住吉町 2-4-24
 TEL 0287-23-3100(代) FAX 0287-23-3102

介護用品のレンタル・販売

■処方せん調剤 ■介護用品全般 保険調剤薬局

松本 寿広(高20回)
 松本 隆史(高45回) 松本 智史(高48回)

(株)まつや薬局 クスリのご相談、介護のご相談お気軽にどうぞ
 TEL 0287-22-2502(代)

大田原市城山 1-5-31 FAX 0287-22-2501
 大田原市中央 1-3-15 TEL 0287-47-6167 (トコトコ大田原内)
 大田原市中田原 773-9 TEL 0287-47-4152

◆◆栄典者・功労者◆◆

○令和 3 年度秋の叙勲

石川 雄太氏 (高 7 回) 瑞宝小綬章 小林 惺氏 (高 7 回) 瑞宝小綬章
君島 建二氏 (高 20 回) 瑞宝単光章

○危険業務従事者叙勲

山下 行夫氏 (高 20 回) 瑞宝双光章 多部田 徹氏 (高 20 回) 瑞宝単光章

○令和 3 年度秋の褒賞

古内 薫氏 (高 11 回) 黄綬褒章 八木沢 操氏 (高 25 回) 藍綬褒章

○高齢者叙勲

君島 真二氏 (高 4 回) 瑞宝双光章 石川規矩也氏 (高 4 回) 瑞宝双光章
齋藤 宗氏 (高 4 回) 瑞宝双光章 大柿 利之氏 (高 4 回) 瑞宝双光章

○当選者

福島 泰夫氏 (高 21 回) 那珂川町長 相馬 憲一氏 (高 28 回) 大田原市長

○令和 4 年度春の叙勲

荒井 武次氏 (高 10 回) 瑞宝双光章 益子 信弘氏 (高 9 回) 瑞宝双光章

○危険従事者叙勲

関根 力氏 (高 20 回) 瑞宝双光章 磯 時男氏 (高 22 回) 瑞宝単光章

◆◆令和 4 年度支部総会等◆◆

○紫塚同窓会宮城支部総会: 7 月 23 日 (土) JAL シティホテル仙台
○近畿紫塚会総会: 10 月 29 日 (土) ホテルピナリオ嵯峨嵐山

○紫塚同窓会東京会総会: 11 月 12 日 (土) 品川プリンスホテル
○県庁紫塚同窓会総会: 12 月 13 日 (火) ニューみくら

○紫塚同窓会那珂川町支部役員会: 11 月 12 日 (土) 料亭みづ乃

第 2 正副会長監事会

日 時: 令和 4 (2022) 年 9 月 30 日 (金)
会 場: 大高会議室
参加者: 増淵会長以下役員、植木校長等

○令和 4 年度常任理事会、霜月懇話会、役員改選、および創立 120 周年記念事業についての検討を行った。

第 69 回十年会

今年度もやむなく中止

○令和 4 年度十年会は全体会での懇親会を無しにして実施する方向で準備を進めていましたが、夏のコロナ感染拡大第 7 波の中、県から 8 月初旬に「BA.5 対策強化宣言」として、高齢者への外出自

粛や行動制限依頼が出されました。それを受け、残念ながら令和 4 年度十年会も 8 月 12 日に中止を決定した次第です。例年と異なった形の計画を立てていましたので参考として以下に掲載いたします。

1. 日 時 令和 4 年 8 月 20 日 (土)
午後 4 時 00 分～午後 5 時 00 分

2. 会 場 大田原高等学校

3. 日程概要

15:00 ~ 16:00 受付 (年次毎)、

校内・部活動見学

16:00 ~ 16:45 全体会 (懇親会なし)

16:45 ~ 17:00 記念写真撮影

17:00 ~ 解散 (同期会)

4. 十年会内容詳細

該当年次

令和 2 年度: 高 12 回

令和 3 年度: 高 13 回

令和 4 年度: 高 14 回・24 回・34 回・

44 回・54 回・64 回

(1) 受付：第1体育館

◇各年次役員

- ①各年次毎に十年会・同期会の受付、名札・お茶配布
- ②会費徴収 記念写真・お茶代
- ③記念写真郵送確認

(2) 校内・部活動見学

全体会開始時間まで自由に見学

*3年生が進学模試を実施しているので一部立入禁止

(3) 全体会 16:00～16:45：普通教室棟
1階HR（ワライツツ zoom 利用）

◇次第 ①開会

- ②同窓会長挨拶
- ③学校長挨拶
- ④学校案内ビデオ上映
(現在の大高の様子)
- ⑤令和4年度十年会該当年次代表挨拶

⑥閉会

- ⑦記念写真撮影：ロータリー付近

5. 同期会（学年ごとの懇親会）について（実施するかしないかは各年次役員が判断する）

- 今後の十年会につきましては正副会長監事会、常任理事会、同窓会総会で検討してまいります。
- 高13回、高24回の先輩方は同期会を開催いたしました。以下に原稿を掲載いたします。

最後の同期会を終えて

千保 一夫（高13回）

昨令和3年度が卒業60年目最後の十年会に該当する学年でありましたが、コロナ騒動で1年遅れの実施と楽しみにしていたところ、本年度も十年会は中止となり、私達同期会の実施の是非も検討を迫られました。先のない我々にとって更に1年延期すればその間に確実に逝ってしまう人が何人もいるであろう、との思いから貴重な1年を待つことは惜し



紫塚同窓会十年会 高13回 令和4年8月20日
於：大田原温泉

いとの結論に至り、結果的に出席者はわずか12名でありましたが実施いたしました。それなりに長時間の親睦を深めた後、まだ十分に話が終わっていない、是非二次会も設営して欲しい、との希望を受け、ほぼ全員で二次会に残り、これ以上旧交を温めることのできた機会は生涯に二度と無かったと思える程、楽しく有意義な同期会となりました。

恩師はすでに無く同期生も生き残っている者は幸運と言える程少なくなってしまいました。最大の喜び、盛り上がりは遠く60年以上昔の大高在学中の恩師との思い出が一つひとつ、そして多感な少年同士の触れ合い、交流の思い出がこんなにも鮮明に甦るものなのか、との歓喜でありました。

大高で学んだ「少年老い易く学成り難し…。」大高を卒業したのはついこのあいだのように思えるのに、すでに老年も終盤に差しかかってしまった私達にとって束の間、少年に還った一日でした。母校の限らない飛躍を祈念いたします。

高24同期会

鎌田 美樹雄（高24回）

コロナの猛威で、楽しみにしていた十年会は中止になり、学年会の2次会が乃木温泉ホテルで行われた。残念だが11名。その他数名が別のところで行われた。岩波定美君、小山田考司君、神島仁誓君、坂和和夫君、相馬孝夫君、土屋修一君、成田純一君、森島政清君、沢田（山口）建樹君、久利生清隆君 一人ひとり自己紹介してもらい、自慢の持病など質問して答えてもらった。小山田君は胸部大動脈瘤破裂で、幸運にも手術で生還したという。サッカーのMFでスポーツマンであり、もっと長生きしてもらいたい、と思った。みんなすばらしい笑顔の紳士たちであった。高校時代は、みんな大きな夢を持ち、少し生意気な我々であった。恩師の方たちには、少しすまないなと思っていた。お酒も入り、楽しい2時間はあっという間過ぎてしまった。コロナで今回これなかった仲間、宴席に来られた仲間。また10年後の再開を楽しみにしている。年のせい



か大高時代が懐かしく、大変ありがたく思っています。会計の坂和君、締めのお言葉の神島君 皆さん楽しい 2 時間ありがとうございました。

栃木県庁紫塚同窓会

会長 (栃木県企業局次長) 平山 浩之 (高 33 回)

各支部の活動 宇都宮紫塚同窓会の現状

会長 青木 勲 (高 9 回)

数年にわたる新型コロナウイルスの蔓延により、様々な活動が制限されています。宇都宮紫塚同窓会 (会長 青木 勲、高 9 回) も例外ではなく、毎年、宇都宮市内のホテルに大田原高校の校長先生と紫塚同窓会の会長をお招きし、総会と懇親会を開催していましたが、ここ 3 年は、コロナ禍の影響を考慮して開催を断念し、審議すべき議案は、全て書面表決で了承を得てきました。



一刻も早く、地域社会が大きく動き出し、経済も活発化してくることを祈るばかりですが、そうなればいつでも会員の皆様の顔合わせができるよう会員名簿もきちんと整理し、準備を怠らないよう心がけております。

しかしながら、当会の悩みは、会員の高齢化により、年々会員が減少していることです。本年 2 月現在、当会の会員 (名簿登載者) は 75 名、お亡くなりになった方や諸事情で退会される方がおられる一方で、若い方の入会が今一つ低調なことから、なんとか知恵を絞って会員の拡大に努めているところです。

こうした中、うれしい入会者がありました。それは大高から防大を卒業、いくつかの転勤を経て宇都宮市内の部隊のトップ、佐官級の役職にまで昇り詰めた方が、当会の青木会長が栃木県防衛協会会長の役職に就いていることもあって、二つ返事で宇都宮紫塚同窓会に入会してくれました。残念ながら未だ会員の皆さんとの交流の場が持てないまま今日を迎えておりますが、ぜひとも来春こそは宇都宮市内でも声高らかに大高校歌を謳い上げたいものです。

県庁紫塚同窓会は、大田原高校出身の県庁職員、約 240 名で構成しており、庁内でも大規模の同窓会の一つとなっています。

例年であれば、夏頃までには、県庁紫塚同窓会総会と併せて、今や恒例となった感のある大田原女子高校出身者の県職員との交流会を開催し、紫塚同窓会本会の会長様や大田原高校、大田原女子高校の各校長先生など来賓も多数御参加いただき、各校の近況発表や懇親会、更には肩を組んでの校歌大熱唱など、盛大に開催しているところでございます。

その他、紫塚 G F ゴルフ大会への参加など、様々な活動を行う予定でございましたが、今年度は、残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底を図る必要があることから、現在、総会の開催等を見合わせているところであります。

県においては、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、県民の皆様へは、適時適切なマスクの着用や早期のワクチン接種、また“3密”をさけることの徹底など協力要請しているほか、事業者等に向けても、テレワークや時差出勤など人との接触を低減する取組の継続と実施など基本的な感染防止対策の徹底を要請しています。

県庁紫塚同窓会としましても、1 日も早い収束により、総会など開催できるよう、県職員の会として一人一人が感染拡大防止に努めて参ります。

首都圏・紫塚同窓東京会の活動 この一年

首都圏紫塚同窓東京会会長

桑原 裕 (高 10 回 大田原中)

今年は、東京会ができて 70 周年になる記念すべき年です。東京会は、今は首都圏と冠がついていますが、それ以前は一都三県に住む大田原高等学校同窓生の会でした。

eye clinic
inooue
井上眼科医院
理事長 井上直紀 (高 43 回)
〒324-0051 大田原市山の手 1-2-11
TEL 0287-22-2514

タイル工事・石工事・リフォーム工事
ハシモ株式会社
HASIMO
代表取締役社長 **橋本 徹** (高 32 回)
荒牧 量 (高 32 回) 山崎 洋 (高 33 回)
橋本 悟 (高 41 回) 渡辺 毅 (高 45 回)
本社 / 大田原市南金丸 2000 TEL 0287-24-0010 (代)
東京営業所 / 北区赤羽台 東北出張所 / 仙台市青葉区
<http://www.hasimo.co.jp>

三九会
(さんきゅうかい) (高 16 回)
東京: 親睦会 2 月
大田原: 定例会 3 月 9 日
ゴルフ会: 9 月 3 日
藤田宏和 TEL 0287-29-0902
岡本之良 TEL 048-442-4364

東京会発足当時、世情は就職難でした。就職斡旋が東京会設立の大きな役目でした。今大高の先輩たちは首都圏で活躍しています。皆母校を思い卒業生の将来を見守っています。これを具体化しようという気持ちから、東京会は生まれ育ってきました。

この一年、やはりコロナ禍対応に追われました。コロナが収まりかけたので、face-to-faceの会合を計画しましたが、コロナが逆に急増して変更、を繰り返しました。しかし、東京会は、ZOOMによるweb会合を欠かさず実行致しました。副会長を主たるメンバーにしての開催です。その会合には、本部同窓会増淵忠行会長、大田原高等学校植木淳校長ほか教頭、各担当先生のご出席もいただきました。キャリアやSSHのことなど協力できる限りの知恵を絞りました。



会報『むらさき』創刊号から21号まで



ZOOM 総会の画面 令和3年11月28日(土)

令和3年度東京会総会を昨年11月にZOOMで実施いたしました。増淵会長、植木校長はじめ生徒会長までご挨拶をいただくなど成功裏に実現できました。コロナ禍に対しては、副会長の中に薬学、製薬を専門とする専門家も抱えており、お陰で、随時適

切なアドバイスを頂き対応できました。役員会のキャンセルやゴルフの中止など悔しいこともありましたが、一方で充実した会報も発行でき卒業生にも手渡しできました。

こうして東京会はコロナ共生時代を何とか乗り切ってはいますが、早く正規の軌道に乗ることを心待ちしています。

母校の近況

寒稽古

日時：令和4(2022)年1月17日(月)
～1月21日(金)

○新型コロナウイルス感染症対策として、学年毎に実施日を分けたり、実施の14日前から健康観察を行うなど、実施に向けて準備を進めてきた。しかし、1月11日(火)以降、県内の感染者数の急激な増加が見られたため、14日(金)の時点で17日(月)・18日(火)を中止し、19日(水)3学年、20日(木)2学年、21日(金)1学年の学年単独で実施する方針に変えた。しかし、週が明けても感染の収束は見られず、18日(火)には感染者数が過去最高となった。また、近隣の小中学校において学級閉鎖があったことから、今年度の中止を決定した。

予餞式

日時：令和4(2022)年2月28日(月)
会場：大高第一体育館

○新型コロナウイルスの影響から卒業生は学校行事や修学旅行の中止を余儀なくされた。そんな卒業生達に在校生からの餞として「U字工事」のお笑いライブ、教室訪問がプレゼントされ、大いに盛り上がった。

(有)ナルミヤスポーツ

成宮正人(高44回)

栃木県大田原市中央2-16-15
TEL 0287-23-6668
FAX 0287-23-6437

住む人の心にしみる木の香り

一般建築資材・新建材・住宅機器・新銘木・内装工事一式

有限会社 藤田材木店

代表取締役 藤田晋輔(高54回)

〒324-0047大田原市美原3-3266-1

TEL:0287-22-2617

近畿紫塚会

会長 松木守夫(高20回)

第85回総会令和4年10月28日(土)

事務局 〒593-8328

大阪府堺市西区鳳北町6-335-2

森 重恭(高34回)

TEL090-4293-7361

メール:mppi43552@maia.eonet.ne.jp



令和3年度卒業式

日 時：令和 4 (2022) 年 3 月 1 日 (火)
会 場：大高第一体育館

- 3 月 1 日、高校第 74 回卒業式が挙行され、236 名の卒業生が紫塚の学び舎を巣立っていった。卒業証書受領の総代は、東北大学に進学した磯野佑介君（大田原中）が務めた。
- 答辞は生徒会長を務めた手塚結君（矢板中）であった。答辞では「新型コロナウイルス感染症の流行のため、大高の伝統行事は、この二年間行われていません。在校生の皆さんと、一緒に強歩や寒稽古を経験することができずに卒業することは、大変残念でなりません。その一方で、スーパーサイエンスハイスクール一期生として、私たちが手探りの状態で進んできた三年間の道のりが、皆さんにとってのささやかな羅針盤になれたのではないかと自負しています。（中略）この 1 年はワクチンや薬の開発が進んだことで、少しずつ変化の兆し

も見られました。八月には延期になっていた東京オリンピック・パラリンピックが、無観客という異例の形ではありましたが、開催されました。開催には賛否両論あったオリンピックでしたが、日本の選手が大活躍し、金メダルを獲得したことは、コロナ関連の暗いニュースが多い中で、日本を明るくする出来事でした。

コロナ禍の中で、今までとは異なる形であっても、このようにスポーツや文化のイベントが開催されることによって、多くの人が喜び、勇気づけられたことを思うと、感染対策を充分にとり、人々の命を守りながら、新しい形での開催を模索していく大切さを考えさせられます。

大高の校訓「質素堅実」は、表面を飾らず、内面を磨けという教えですが、目に見える形にとられるなどという解釈もできると考えます。今まではこのような形で実施してきたから、という既存の概念に拘ってはいは、前に進めません。今はこのような状況だから、「仕方がない」とあきらめず、どのような形ならできるだろうかと新しい対応を考え、実行することが大切です。これから私たちが羽ばたく世界は、順風満帆なことばかりではないでしょう。しかし、困難な状況にある時こそ、「質素堅実」の精神を忘れず、あらゆることに挑戦し、自分の力で未来を切り開いて参ります。」と述べた。

令和4年度入学式

日 時：令和 4 (2022) 4 月 7 日 (木)
会 場：大高第一体育館

- 4 月 7 日、高校第 77 回入学式が行われた。新入生は期待と不安の入り交じった表情であったが、担任の呼名に元気よく大きな声で返事をし、起立した。そして、全員の呼名後、校長から新入生 201 名の入学が認められた。代表宣誓は、今泉惺君（西那須野中）が行った。

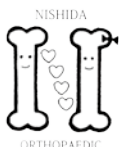
藤田山 圓光寺

住 職 神島仁誓 (高 24 回)
副住職 神島一誓 (高 66 回)

〒329-2755
那須塩原市西原町 4-5
TEL 0287-36-0476
FAX 0287-36-2965

西田整形外科医院

整形外科・リハビリテーション科
整形外科専門医 院長
西田三郎 (高 30 回)



〒324-0053
大田原市元町 1-9-18
大田原女子高校そば
TEL 0287-20-3100



株式会社 関商事

代表取締役 関 幸一 (高 22 回)
〒329-2763
栃木県那須塩原市井口 532-7
TEL 0287-36-8181 FAX 0287-36-4141

第34回 85キロ強歩

日時：令和4(2022)年5月19日(木)

○大高生にとって大きな成長が期待できる伝統行事のため、なんとか実施したいと思う職員が多い中、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全校生一斉の移動・食事・夜間歩行での感染リスクが高いと判断し、移動は各クラス単位、食事は場所と時間が学年別になるよう、そしてゴールは暗くなり始める道の駅「湯の香しおばら」までの約35kmという例年と異なる計画でなんとか実施することができた。



日だった。

今回の強歩はとても良い経験だった。普段の生活の中で、ここまで辛い状況になることはほぼない。実施前や歩行中は苦しかったが、終えてみると達成感に満ちあふれ、今までとは違った景色が見えた気がする。この経験を財産とし、今後の人生に活かせるように努めていきたい。



第55回大高祭

日時：令和4(2022)年9月3日(土)

○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から来場者を午前1,000人、午後1,000人と人数制限を設け、また、11:30~13:00の生徒の昼食時間は落ち着いて黙食が徹底できる時間を確保した。そのほか消毒の徹底、受付での体温記入などできる限りの感染対策を講じての実施となった。



3年 磯太陽

1,2年生のときは新型コロナウイルスの影響で中止になり、3年生になってようやく実施された85キロ強歩。規模が縮小された35kmの道のりであったが、卒業前に大田原高校の伝統行事を経験することができてよかった。

強歩を振り返ってまず思うことは、かなり「辛かった」ということ。スタート直後は有り余っていた体力が、歩行を続けると共に徐々に失われていく。ましてや当日は気温が高く、ただ立っただけでも疲労が溜まる。終盤で足がつてしまい、一時は心が折れかけた。正直辛いことばかり思い出されるが、もう一つ同時に分かったのは「意外と歩ける」ということ。体中が痛む過酷な状態でも、自分の想像とは裏腹に足は動いた。その理由は何かと聞かれたら、私は間違いなく、友人がいたからだと答える。完歩するために必須になるのは友人の存在だと思う。彼らとの会話の中で、辛さを共有し、励まし合い、モチベーションを高め合ったことが、強歩をやりきることができた最大の要因であろう。これからも友人を大切に、共に困難を乗り越え、切磋琢磨していきたいと強く感じた一

三年振りの漢の祭り

大高祭実行委員長 大野 陽希

三年振りの大高祭は、「三年振りの大高祭！～三年間熟成された男達を見よ～」というスローガンの元に開催されました。今年の大高祭

は、委員会での話し合いで「一般公開しないなら、大高祭自体やらなくていい」という強い決意で始まりました。三学年全員、誰も経験のない行事で右も左も分かりませんでした。そんな中、各クラス、各団体で最高の出し物、発表にしようと言う熱意を持って準備を進めていきました。



どんな雰囲気になるか分からないままの開催となりましたが、始まってしまえば入場制限がかかる程の大盛況。生徒達にもこんなに人が来るのかと驚きの表情が見えました。各クラス、団体が各々のこだわりが見える企画内容や飾り付けでした。どこに行っても張り切った大高生と楽しそうな客人達がいて、活気があるとはこのことかという雰囲気に校舎が包まれていました。中でも、今まで人の目に映る場がなかった部活、団体は、歓喜がにじみ出るような発表でした。

新型コロナ対策で様々な制限がある中での開催となりましたが、ふざける時は枷が外れたように、準備や企画は真面目に入念に。まさに大高生らしい最高に盛り上がった大高祭になりました。また、開催するにあたり様々なルールを作ってください、生徒会の安全と享楽を良い安排に保つように考えてくださった先生方に感謝しています。そして、三年生に「大高祭」の思い出が残ったこと大変嬉しく思います。



SSH事業

【スーパーサイエンス・ハイスクール】

○令和元年度より 5 年間、文部科学省の SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 事業の指定校となった。SSH 事業は、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力等を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組である。本校の計画している事業の概要と SSC 生徒の令和 4 年度 SSH 生徒研究発表会のポスター発表原稿を次に示す。

SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 事業

(1) 研究開発課題名：

志と科学的リテラシーを育む文理融合型課題研究の開発

— Inspiration through Perspiration —

(2) 研究目標：

社会構造の急速な変革が進展する中、社会の持続的な成長と発展への志を持ち、国内外を問わず科学技術分野で新しい価値を創造・発信できる人材を育成する

(3) 研究開発の概要：

- ①「社会問題啓発プログラム」を通じ社会への興味・関心を高め、志の萌芽を誘う。
- ②「課題研究プログラム」を通じ論理的思考力と科学的リテラシーを育成する。
- ③「ICT 活用能力育成プログラム」により表現技法・情報発信能力を養う。
- ④ SSH 事業全体の PDCA 化と評価法の開発により、事業の改善に努める。

(4) 具体的な取組の概要：

○1 学年前半は SS 探究 (総合的な探求の時間) や LHR 等の授業を通して、「社会問題啓発プログラム」に取り組む。1 学年後半から、班ごとに関心のある研究テーマを設定し、研究計画書を作成する。2 学年から課題研究に取り組む。この発表会は他校の指導者や保護者、有識者などにも公開する。

○希望者は科学関連施設や大学等の見学会に参加できる。

○理工学及び語学に関する部活動 (SSC 自然科学班・SSC 情報班・SSC 数学班、英語部など) を充実させる。

令和4年度SSH生徒研究発表会(全国)ポスター発表賞

那須岳の噴火によって形成された那須の地形について

栃木県立大田原高等学校

1 はじめに

国土地理院のHPから、栃木県的那須地域(図1参照)の標高データを入手した。10mメッシュで、全部で1350万地点の標高データである。

このデータをエクセルシートに貼り付け、地形をみるため、様々な数学的処理を行う。なお、標高の単位はメートルである。

エクセルにはセルの値に応じて色をつけて標高の高低をわかりやすく表示する機能がある。色をつけ、さらにセルの幅や高さを1ピクセルまで縮めると図1のような図が現れる。3つの山塊(那須、大佐飛、高原)とその下に広がる那須野が原扇状地が確認できる。また右側には川が確認出来、多くの支流が集まって、那須川を形成しているのがわかる。しかし火山の跡は見えない。

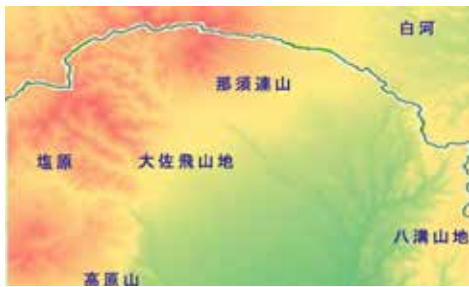


図1 3つ山塊と那須野が原扇状地

ここでは那須地域の特において、那須連山の噴火によって地形がどのように形成されたかを、数学的に分析し、地質学的、地理学的に裏付けを行う。また噴火によるなだれをシミュレーションし、将来の災害に備える。

2 標準偏差で土地のどこをみる

もし、火山噴火のなだれが起こった場合、その地域はどこをみているに違いない。そこで各地点

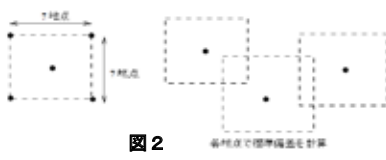


図2

において、その点を含む7x7の地点の標高の標準偏差を計算し、これを全ての点で行った。(図2)でどこをみれば標準偏差は大きいはずである。

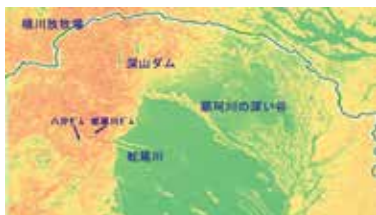


図3 標準偏差でどこをみる

先と同様に、標準偏差の値に色をつけ、各セルを1ピクセルまで縮小すると図3のようになる。

もちろん山間部はどこをみるが大きくなるが、その他に那須川より北東側で、茶色い色が目立っている。ここが1つの候補である。しかしこれだけでは噴火のなだれの跡と断定するのは厳しい。

3 地面がどちらを向いているか特定する

図4で、ある地点 h_{22} の地面の傾きを計算するのに、東西方向(x軸方向)の差と南北方向(y軸方向)の差を以下のように定義する。

$$S_x = \frac{1}{3}(h_{13} + h_{23} + h_{33}) - \frac{1}{3}(h_{11} + h_{21} + h_{31})$$

$$S_y = \frac{1}{3}(h_{31} + h_{32} + h_{33}) - \frac{1}{3}(h_{11} + h_{12} + h_{13})$$

もし S_x が正ならば、東側の方が高くなっており、負ならば、西側が高い。もし S_y が正ならば南側が高くなっており、負ならば北側が高い。

h_{11}	h_{12}	h_{13}
h_{21}	h_{22}	h_{23}
h_{31}	h_{32}	h_{33}

図4 h_i : 標高

すると S_x, S_y の正負0の組み合わせで9通りの場合分けがあり、各地点の傾きが、どのパターンに当てはまるか計算できる。(表1)

	$S_x > 0$ 東が高い	$S_x = 0$	$S_x < 0$ 西が高い
$S_y > 0$ 南が高い	北西向き	北向き	北東向き
$S_y = 0$	西向き	平坦	東向き
$S_y < 0$ 北が高い	南西向き	南向き	南東向き

表1 地面の傾きの9つのパターン

この9通りの斜面の方向に対して色を割り当て、各地点がどちらを向いているかで、それぞれ色をつけていく。那須連山付近を拡大すると図5のようになる。立体的になって地形がわかりやすい。図5の丸で囲まれたA,B,Cのところは那須の火山の噴火によってできたなだれの跡に見える。特に

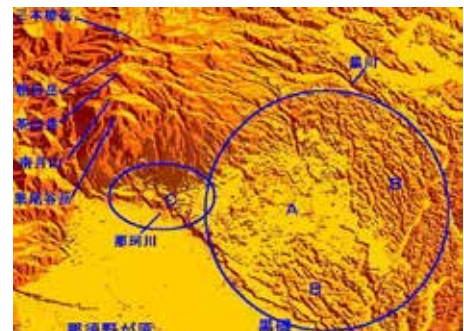


図5 9つのパターンで色分けし立体的に表示

Aの部分にはBのなだれの跡、その上に流れた感じである。

また図6上は茶臼岳付近を拡大したものであるが、噴火によるカルデラの跡が確認できる。文献によると、大規模な噴火によるカルデラが形成された後に茶臼岳が形成されている。また図6下は黒尾谷岳付近を拡大したものであるが、同様にカルデラの跡が確認できる。ここも南月山が噴火してカルデラができた後に、黒尾谷岳が形成されている。

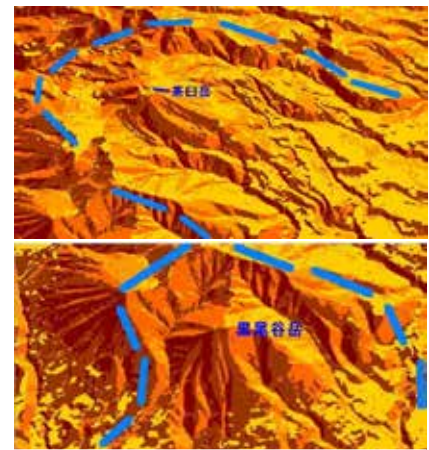


図6 茶臼岳(上)と南月山のカルデラ(下)

いずれにしても茶臼岳や黒尾谷岳が出来る前、それぞれの場所には現在の山の高さをはるかに超える大きな山があったことが推測される。そして膨大ななだれが麓に流れたと思われる。

4 標準偏差の並びに方向を考えて地形をみる

さらになだれをはっきりと捉えるために、先に計算した標準偏差の方向を考え、色をつけてみた。今度は h_{22} 及びその周り

の数値は標高ではなく、でこぼこ度を表す標準偏差である。(図 4) その並びからでこぼこ度の向きを考える。このような処理をすることで、例えば図 7 の AB ライン、CD ラインのところでは、左右方向で標準偏差の変化の方向がでるのではないかと考えた。しかし EF ラインでは標準偏差の大きな変化はない。これで計算すると、なだれの跡が図 8 のように鮮明に現れた。

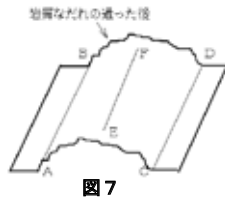


図 7

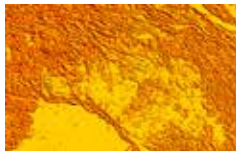
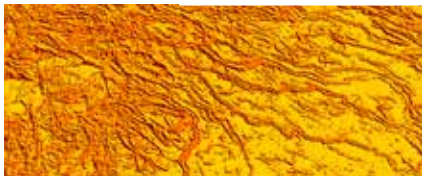


図 8 でこぼこ度の方向

図 9 上は麓のところを、さらに拡大したものである。

図 9 中はなだれが流れて麓で止まったところが見て取れる。



これで数学的に火山活動の跡を示すことができた。

さらに図 9 下からわかるように、左側を流れている那珂川に、なだれが流れ込んだ跡が見られた。その南側にある那須野が原になだれの跡が見られないのは、那珂川が食い止めていたためである。

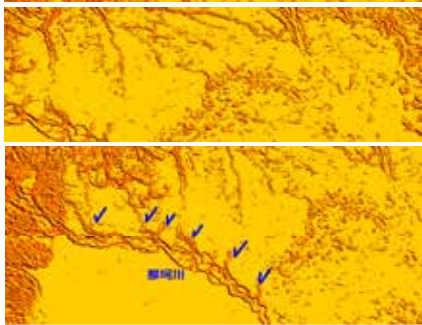


図 9 図 8 を拡大したもの

5 現地に赴いて地質学的、地理学的な観点から検証

昨年秋、PC 上でなだれが確かめられたところに行き、確かめてきた。写真 1 は那珂川支流の余笹川の崖で、なだれの層が 2 層確かめられた。間には礫が挟まっており、なだれが複数回起きたことが裏付けられた。



写真 1 2 層のなだれの跡

また写真 2 は那須町小山にあるなだれが止まってできた丘陵である。これは「流山」とよばれる。図 9 中ではこれが粒々状に現れている。



写真 2 流山の例

6 過去の研究から確かめる

那須地区の地形について、過去の研究から、那須連山には少なくとも 3 箇所になだれが起こったことがわかっている。これは数学的な分析結果と一致している。先の図 5 の A、B、C には名前がある。A は「御富士山岩層なだれ」、B は「黒磯岩層なだれ」、C は「那珂川岩層なだれ」とよばれる。(図 10) 茶臼、南月山、三本槍のところにはかつて 2000m を超える成層火山(点線で示された山で富士山型の火山)があり、それらが噴火でくずれ、茶臼と南月山のところにはカルデラができた。その際、流れ出した岩層なだれが A、B、C のところに流れたと思

われる。茶臼岳と黒尾谷岳は、カルデラが出来てから二次的に出来た山である。

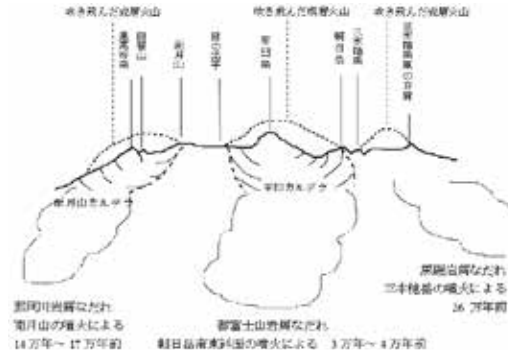


図 10 噴火による山体崩壊、形成されたカルデラとなだれ

<http://chibataki.moo.jp/sonotanokai/080601nasu/nasukaisetsuriyo01.html> の「8 山麓からの那須山」を参考に発表生徒作成

7 那須の噴火によるなだれをシミュレーションする

茶臼岳は 1915m であるが、この山の 1600m 以上の部分が噴火により吹き飛び、なだれとなって麓に流れることを考える。これを PC 上でシミュレーションし、どの辺の地域まで被害が及ぶかを計算してみた。

エクセル上で例えば h_{22} の周りで一番低いところが h_{33} だったとしよう。すると h_{22} にあった土砂は h_{33} に流れる。(図 11) これを各点で繰り返す。なだれの量がある一定以下になったらそこで止まることにする。



図 11

これを VBA で計算した。その結果、図 12 にある赤い部分が、なだれの流れるところであることがわかった。このデータによると、なだれは東北自動車道や東北新幹線はもちろん、国道 4 号線も横切ってしまう、交通網に大きな損害を与えることがわかる。迂回する道路として、国道 294 号線が有効な道路である。

さらになだれの部分を先のマップに重ね合わせると、ちょうど昔なだれが流れたところと一致した。(図 13)これはプログラムの妥当性を示すものである。

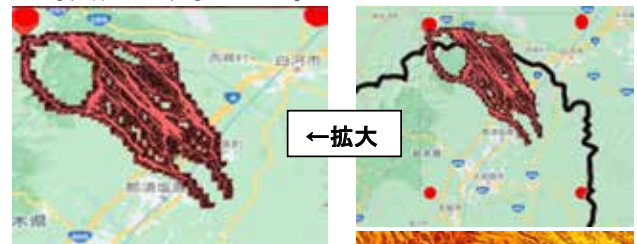


図 12 なだれをシミュレーション

グーグルマップ <https://www.google.co.jp/maps/@36.8148137,140.227196,10z> から引用

本研究では標高を数学的に分析することで、地形の成り立ちについてかなりのことがわかることを確認できた。さらに数学が災害のシミュレーションにも活用できることが判明した。

図 13 過去のなだれに一致

8 参考文献

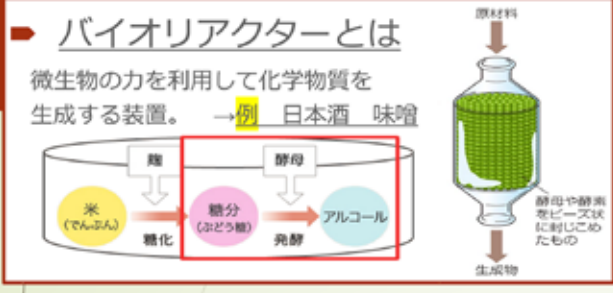
M. Takizawa (2021), Examining the Geographical Features of the Nasu Area, Proceedings of 14th International Congress on Mathematical Education

伴 敦志 (2016) 日本温泉科学会第 70 回大会 特別講演「那須の地形と地質」



フードロスでコロナ対策！ 家庭用バイオリアクターの開発

栃木県立大田原高等学校 2年 27班
池上 貴一 磯 良翼 遠藤 滉介 野村 勇吾
指導教官 高梨 和幸



● **要旨**
フードロスからアルコールを生成する「**バイオリアクター**」を制作する。

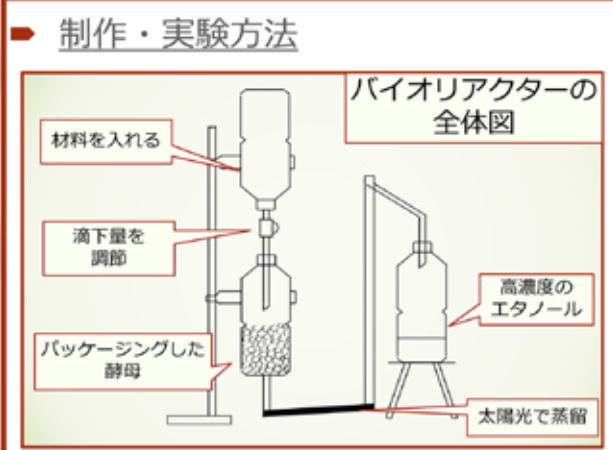
● **研究背景**

- 地球温暖化の原因の一つであるフードロス
- コロナウイルス感染症の流行

→ **同時に役立てたい!**

● **研究目的・意義**

- フードロスの**有効活用**
- アルコール消毒液の生成

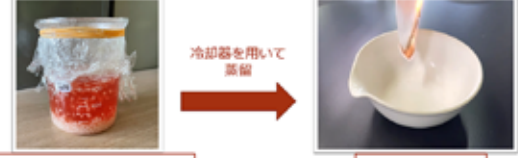


● **パッケージング →成功**
装置を**継続的に利用**するため、酵母を**固定**する。

・方法
人工いくらの原理と同じ

1. アルギン酸ナトリウム水溶液に
2. **酵母**を溶かし、
3. 塩化カルシウム水溶液に滴下する。

● **エタノールの生成 →成功**
前記の方法でパッケージングした酵母に材料となるものを入れ、時間をおく。



ここではフードロスの代わりにジュースを用いた。 エタノールの生成を確認!

● **蒸留 →改良中**
生成したエタノールの濃度を高める。
・蒸留には**ガスバーナー**は**利用せず**、自作した蒸留器で**太陽光のみ**を利用して行う。

○ **実験**
水で満たした様々な種類のパイプの中にチューブを入れ、ミラーシートで集光し、中に入れた水の温度変化の様子を記録した。

10月15日	8:30	11:00	12:00	16:30
気温	17.4	22.1	23.3	21.9
アクリル(クリア)	28.7	40.3	38.8	21.7
銅(大)	26.8	39.8	36.6	22.7
銅(細)	27.6	43.7	40.0	22.9

10月18日	8:30	11:30	13:00	16:30
気温	10.9	14.7	16.2	13.5
アクリル(黒ビニール)	16.9	46.3		
アクリル(クリア)	17.5	42.0		
銅(黒ビニール)	18.1	39.2		

10月20日	8:30	11:00	15:30	16:30
気温	13.0	17.8	14.9	13.8
アクリル(黒ビニール)	19.5	44.4	15.4	
銅(黒ビニール)	20.4	36.5	15.2	
アクリル(クリア)	20.1	37.9	15.4	

○ **結果・考察**
黒ビニールを巻いたアクリルパイプの温度が最も上がった。
→断熱性に優れたアクリルパイプに黒ビニールを巻くのが最も効率的。

● **改善点・今後の課題**

- 蒸留で80℃付近まであげる。
- 装置を連結させて連続的にエタノールを生成させる。

● **参考文献**
<http://www.eonet.ne.jp/~nakacchi/jinkoikura.htm>

● **謝辞**
株式会社 武勇 深谷 篤志 氏
私たちの研究にご指導いただき、本当にありがとうございます。
ございました。今後ともよろしくお願ひします。



防災意識を高めるためには

栃木県立大田原高等学校 2年 4班
 後藤悠士 松山悠希 鈴木大智 狩野宏輔
 指導教官 川上貴治

○研究目的

小学生を対象とした防災教育を行い効果的な防災教育法を探る。

○研究背景

- 近年、気候変動による豪雨や台風、経験したことのない大きな地震が日本各地で多く発生。
- これらの災害による被害で身を守るためには、幼い頃からの防災教育による**防災意識の向上**が必要とされている。

○研究手法

- 紫塚小学校の6年生を対象とした、Zoomによる防災クイズ『**なまずの学校**』を実施。
- 先行結果の下、クイズ形式による防災教育は、児童にとって楽しく防災を学べるのかを調査。
- 授業前後で**防災クイズ**の実施。全クイズ終了後に、児童が防災授業を楽しめたかを、**アンケート**を用いて調査。

○実験の様子

Zoomを使用した出題の様子。



小学校での回答の様子。

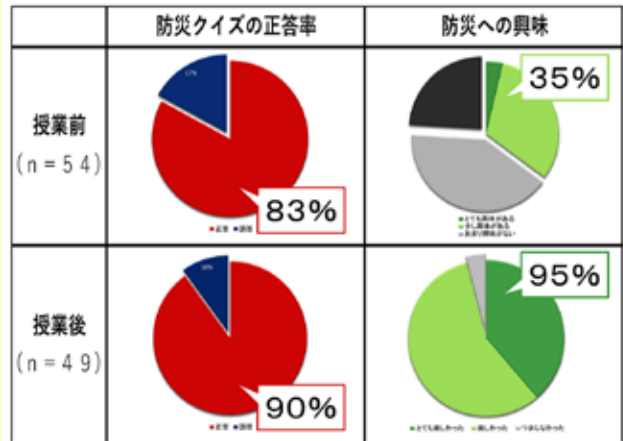


得点発表の際には**歓喜**や**落胆**の声が挙げられた。

○小学生の感想

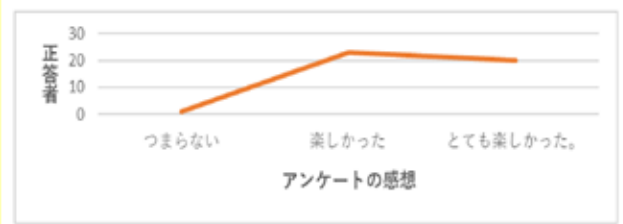
男子	女子
・知識が増えた。 2 2 人	・知識が増えた。 1 1 人
・自信が持てた。 2 人	・楽しかった。 2 人
・興味が持てた。 1 人	・難しかった。 1 人

○結果



授業前後に行うクイズの正答率は、**7%**の増加、アンケートでの防災への興味は、**60%**の向上が見られた。

また、**防災への興味関心の増加と授業後にやったクイズの正答率は、比例していることが分かった。**



○結論・まとめ

知識、興味が共に向上。



クイズでの防災教育は効果的だと言える。

○今後の課題・反省

- 授業中に数名の児童の退屈している様子が見られた。
- 来年以降の班には飽きさせない工夫としてより**実践形式**のものを提案していく。

○参考文献

- 石川孝重 『幼少期から始める防災教育』 <https://mcm-www.jwu.ac.jp/~jyu-ishii/isikawa/pdf/No905.pdf>
- 防災カードゲーム「なまずの学校」【教材】 <https://plusarts.theshop.jp/items/11299756>

○謝辞

大田原市立 紫塚小学校 様
 R2年度 SSH 49班「防災意識を高めるためには」様
 ~研究活動にご協力下さりありがとうございました~



高齢者への熱中症予防の啓発

栃木県立大田原高等学校 2年 50班
鈴木咲耶 大森康晴
相馬慶一郎 郡司琉偉
指導教官 渡部るみ子

① 要旨

様々な熱中症に関する実験や文献を通して、熱中症になりやすい環境や要因を調べる。また、それらの知識を踏まえ、熱中症の対策を高齢者に発信する。

② 背景 目的

- 気候変動に関するビデオ学習を通して地球温暖化による平均気温の上昇は熱中症にどのように関係しているのか興味を持った。また、消防署や気象協会へのインタビューを通して高齢者の熱中症搬送者数が多いことが分かった。
- 熱中症のリスクは室内と室外ではどちらが高いのか疑問に感じた。また、どのような対策が適切なのかについても知りたいと思った。そこで、それらについての実験を行い、室内と室外の熱中症の危険性を調べ、比較するなどして、適切な対策を考えたい。
- 高齢者の搬送者数が多いというデータもあるので、高齢者の熱中症搬送者数を減らしたい。

③ 研究手法

教室、体育館、校庭に黒球温度計等を置き、1時間ごとに湿度と気温、輻射熱を計測する。

夏前の実験(6月13日)

1年2組	密閉
1年3組	窓を開けて換気する
体育館	窓を開けて換気する
校庭	雨の当たらない場所に配置

夏休み(夏)の実験(8月7日)

1年2組	密閉
1年3組	窓を開けて換気する
1年4組	エアコンを使用
1年5組	窓を開けて扇風機使用
体育館	窓を開けて換気する
校庭	雨の当たらない場所に配置

実験器具



研究結果をもとに高齢者にもわかりやすいリーフレットを作り、紫塚地区の「見守り隊」に協力していただいて高齢者に熱中症の対策を発信する。

④ 仮説

室内と室外では室内の方が気流が少ないため、湿度と気温がともに高くなり、室内で多く過ごし、あまり動かない高齢者の方は熱中症になる危険性が高いのではないかと。

見守り隊へのインタビュー



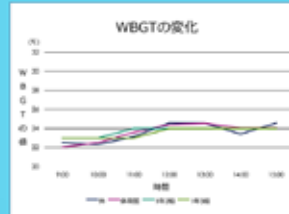
見守り隊

高齢の方や身体の不自由な方などが、安心して自立した生活ができるように支援している。

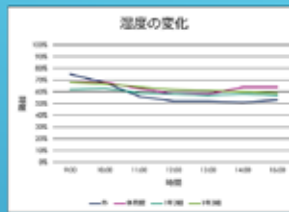
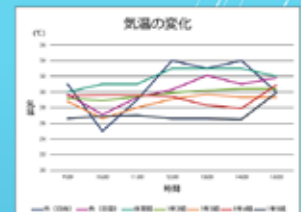
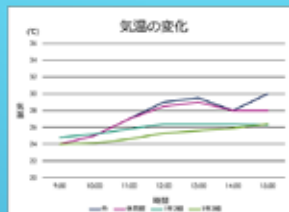
支援の例)

買い物の手伝い、安否確認、エアコンの推奨 など

夏前の実験



夏の実験



⑤ 結果

- 湿度と気温が上がるごとにWBGTも上がっている。
- 湿度と気温の高低差は外の方が大きい。
- 室外の日向のWBGTは最高30℃で嚴重警戒レベルである。
- 夏のグラフの方が全体的にWBGTが高い。
- 夏のグラフでは10時頃に雨が降ったため、湿度は高くなり、気温とWBGTは低くなった。

まとめ

今回の実験より、室外の方がWBGTの値が高いので、室外の方が熱中症になる危険性が高いことがわかった。しかし、高齢者の熱中症搬送者数が多いことには変わりはないので、この結果を踏まえてリーフレットを作成し、高齢者に熱中症の危険性を伝える。

⑥ 引用文献

大塚製薬 熱中症に特に注意したい人
<https://www.otsuka.co.jp/health-and-illness/heat-disorders/caution/>
 熱中症ゼロへ
<https://www.netzero.jp/learning/le01>
 監視隊の立場からみた熱中症死亡の実態
https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/library/librav_11.pdf
 暑さに負けるな～熱中症予防と対策～
<https://www.chikugacity-hp.jp/outline/magazines/casestudy/ndoons/>
 暑さ指数(WBGT)WBGTにDXへ
<https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt.php>

謝辞

見守り隊の皆様 大田原消防隊の皆様
日本気象協会 白川喜一様
栃木県環境森林部地球温暖化対策課 山形彩華様
ご協力いただきありがとうございました。

紫塚キャリア探訪会

執筆者：加藤 信行（高 58 回）

今年度も首都圏紫塚同窓東京会をはじめ、県庁紫塚同窓会など多くのOBの方々にご尽力いただき、「令和4年度紫塚キャリア探訪会」を実施することができた。本事業は、キャリア教育の一環として、日本全国で活躍されている本校OBとオンライン上で交流する事で、各職種を知ると共に、働くことの喜びや誇り、大学や学部選択に関する助言など学校では学ぶことができない数々のことを先輩たちから直に学び、働くことへの関心を高めるとともに各職種に関する理解を深め、今後の生き方や進路計画を考える契機とする進路行事である。

今年度は、令和4年7月19日（火）1・2学年全生徒を対象にZoomを用いて実施した。高29回から高58回まで幅広い年齢、職種の方々12名に講師としてご参加いただき、生徒は自分たちが興味を持った4つの会場を訪問して、諸先輩方から話を聞くという形式（Zoomのブレイクアウトルーム）で行われた。オンラインでの実施ではあったが、仕事の内容や、人材として求められること、先輩たちの高校時代の体験談など、説明と質疑応答の時間を充実させることができた。参加した生徒のアンケートでは「キャリア探訪会を通して、知らなかった職業を知ることができ、進路選択の視野が広がった。」との声が多く寄せられた。



大高外部連携人材バンク運用開始について

S S H 部 副 部 長 加 藤 信 行（高 58 回）

本年度より下記のとおり『大高外部連携人材バンク』の運用を開始いたしました。本校同窓会の方々にも本事業の趣旨、目的をご理解いただき、お力添えをお願いできればと考えております。

なお、ご入力いただいた個人情報に関しましては、本校の教育活動においてのみといたします。また、

ご登録いただいた方を対象に本校のS S H事業の情報紙「大高S S H通信」をメールにて定期配信（希望制）させていただきます。

1. 趣旨

本校S S H事業は本年度で4年目となり、現在まで大学や研究施設等の外部機関及び本校同窓会など多くの専門家から指導・助言を頂きながら各種活動を実施してきた。今後もS S H事業を深化拡充させていく中で、多くの外部連携が見込まれる状況である。しかし、外部連携先が関係部署や係毎など個人との繋がりとなっている場合が多く、本校にとって貴重な人材を共有・活用することができていない現状でもある。

そのため、関係部署が協力し、外部連携人材バンクとして一元管理することで情報の共有化と事業の継続化を図りたいと考えた。

2. 目的

上記の趣旨を踏まえ、主に3つの目的で外部連携人材バンクを作成する。

- (1) 課題研究活動における指導・助言等に関する人材バンク
- (2) サイエンス特別講座をはじめ、各種講演会における講師選定
- (3) S S H事業を経験した卒業生の動向把握

3. 運用方法

下記のQRコードより「Microsoft Forms」から登録（入力）をしていただく。

※後日、本校HPにも外部連携入力用のページを作成予定。



4. 入力内容

- (1) 必須
 - ①氏名、②よみがな、③連絡先（メールアドレス）、④所属、⑤役職・肩書き等、⑥専門分野 ※選択式、⑦専門分野に関連したキーワード（5つまで）⑧連携可能事業※選択式（選択肢：課題研究指導・助言、各種講義、施設見学、人材紹介、その他）⑨本校S S H事業に関する定期配信の希望有無
- (2) 任意

本校卒業の有無→有の場合：卒業年度または卒業回

母校の進路状況

【2021(令和3)年度】

- 大学入学共通テスト受験者数 230名
- 国公立大合格者延べ数 149名 (内過年度卒5名)
※昨年度111名 (内過年度卒1名)
- 私立大合格者延べ数 436名 ※昨年度390名

【合格者数一覧表】

国公立大	21年	20年	19年	18年	17年
東京		3	2		1
京都					1
東京工業			1	2	
一橋					
大阪					
名古屋	1				
東北	3	7	7	4	7
北海道		1			1
神戸					1
東京外国語				2	
筑波		4	2	1	1
千葉	3	5		3	2
埼玉	6	5	8	4	4
新潟	23	10	11	5	13
金沢	2	2			1
横浜国立		1	3	2	1
東京学芸		2	1		
東京農工	1		1		2
電気通信	1		1	1	
静岡	6	3	3	1	3
山形	16	5	13	8	9
茨城	2	2	1	2	6
宇都宮	19	19	21	23	19
東京都立		2		1	3
その他	66	40	51	56	49

私立大	21年	20年	19年	18年	17年
早稲田	2	6	3	2	4
慶應義塾		5	3	3	1
上智	1		1		5
青山学院	3	7	2	3	5
学習院	1	1		2	
中央	16	13	10	11	11
東京理科	7	11	12	4	4
法政	12	21	10	8	5
明治	10	23	6	10	8
立教	3	4	4	1	2
関西			1	1	1
関西学院	2	1	2	2	
同志社		2	1		
立命館	6	7	1		2
駒澤	11	10	10	9	5
芝浦工業	28	14	18	11	13
専修	3	12	10	6	4
東海	21	18	15	15	13
東洋	14	6	2	14	9
日本	42	36	32	43	39
神奈川	7	10	11	9	4
国際医療福祉	14	17	13	11	26
獨協医科				1	
自治医科大				1	
その他	233	186	190	175	168

(※表の年度は西暦、人数は新卒・過年度卒の合算数)

特別活動の記録

令和3(2021)年10月～令和4(2022)年9月

【全国大会】

- 相撲
 - ・令和3年度全国高等学校選抜相撲大会
男子個人出場 2年 野田 航平
- ソフトテニス
 - ・令和4年度全日本高等学校ソフトテニス選手権大会
男子個人出場 3年 松田 和馬
男子個人出場 3年 渡辺 晴陽
- 陸上競技
 - ・第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
男子5000m W 出場 3年 岩城 考雲
- 水泳
 - ・令和4年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
男子100m背泳ぎ 出場 2年 岩本 幸大
 - ・第77回国民体育大会
男子200m平泳ぎ 出場 3年 岩澤 裕
男子4×100mメドレーリレー 第8位
3年 岩澤 裕
男子100mバタフライ 出場 第7位
1年 阿部 匠真
男子50m自由形 出場 1年 阿部 匠真
- サッカー
 - ・第77回国民体育大会 出場 1年 福田 彩人
- スキー
 - ・第71回全国高等学校スキー大会
男子ジャイアントスラローム 出場
3年 池上 貴一
- SSC
 - ・第8回宇宙エレベーターロボット競技会オンライン全国大会出場
2年 柿沼 恵宗
2年 齋藤 晴斗

税理士法人 荻原会計事務所

税理士 荻原 智光 (高29回)

税理士 荻原 秀幸 (高31回)

〒324-0036 大田原市下石上 2109-3
TEL 0287-29-0179 FAX 0287-29-1726

・日本原子力文化財団主催 第 4 回課題研究活動
成果発表会 審査員特別賞

- 1 年 小林 律輝
- 1 年 沼尾 俐玖
- 1 年 戸村 結心
- 1 年 八木沢貫太

【関東大会】

○陸上競技

- ・第 25 回関東高校選抜新人陸上競技選手権大会
 - 男子 5000 m W 第 7 位 2 年 岩城 考雲
 - 男子 5000 m 第 8 位 2 年 増子 陽季
- ・令和 3 年度関東高等学校駅伝競走大会出場
 - 1 区 1 年 藤田 凰雅
 - 2 区 1 年 荒井 大和
 - 3 区 2 年 渡邊 憲司
 - 4 区 2 年 前田 琉司
 - 5 区 2 年 高松 滉成
 - 6 区 1 年 平山 陽翔
 - 7 区 1 年 佐藤 元紀

- ・令和 4 年度関東高等学校陸上競技大会
 - 男子 5000 m W 第 1 位 3 年 岩城 考雲
 - 男子 110mH 出場 3 年 別府 大空
 - 男子 800m 出場 3 年 渡邊 憲司
 - 男子 1500 m 出場 3 年 渡邊 憲司
 - 男子 3000mSC 出場 3 年 前田 琉司
 - 男子三段跳 出場 2 年 齊藤 颯
 - 男子走幅跳 出場 1 年 渋谷 勇次
 - 男子 4 × 100mR 出場 1 年 渋谷 勇次
 - 男子 4 × 100mR 出場 2 年 齋藤 大豊
 - 男子 4 × 100mR 出場 3 年 阿久津龍馬
 - 男子 4 × 100mR 出場 3 年 別府 大空

○柔道・相撲

- ・令和 4 年度第 70 回関東高等学校相撲大会
 - 男子個人 -75kg 級 第 3 位 3 年 野田 航平
 - 男子個人 -75kg 級 第 5 位 2 年 荒井 大翔
 - 男子個人 -65kg 級 出場 1 年 高久 朔哉
 - 男子個人 -75kg 級 出場 3 年 郡司 千陽
 - 男子個人 -85kg 級 出場 3 年 手塚 大智

○水泳

・令和 4 年度関東高等学校水泳競技大会

- 男子 100m 背泳ぎ 出場 3 年 磯 英祥
- 男子 100m 背泳ぎ 出場 2 年 岩本 幸大
- 男子 200m 背泳ぎ 出場 3 年 磯 英祥
- 男子 200m 背泳ぎ 出場 2 年 岩本 幸大
- 男子 100m 平泳ぎ 出場 3 年 岩澤 裕
- 男子 200m 平泳ぎ 出場 3 年 岩澤 裕
- 男子 100m バタフライ 出場 1 年 阿部 匠真
- 男子 50m 自由形 出場 1 年 阿部 匠真
- 男子 400m フリー 出場
- 男子 800m フリー 出場

○SSC

- ・化学グランプリ 2021 支部奨励賞
 - 3 年 會田 晃大

【県大会】

○文芸

- ・令和 3 年度 椽文芸賞 散文の部 佳作
 - 2 年 大金 飛翔

○陸上競技

- ・第 68 回栃木県陸上競技春季大会
 - 男子 1500 m 第 3 位 3 年 渡邊 憲司
 - 男子 5000 m W 第 1 位 3 年 岩城 考雲
 - 男子 3000mSC 第 1 位 3 年 前田 琉司
- ・令和 4 年度第 63 回栃木県高等学校総合体育大会陸上競技
 - 男子 5000 m W 第 2 位 3 年 岩城 考雲
 - 男子走幅跳 第 3 位 1 年 渋谷 勇次
 - 男子三段跳 第 3 位 2 年 齊藤 颯

株式会社
マキ厨房設備

代表取締役 榎 徳和 (高24回)

栃木県大田原市山の手 2-3-13
TEL 0287-22-2486

きれいな写真は、

ミハル写真館

〒324-0051
大田原市山の手 2-6-33
TEL 0287-22-2566

北関東 36 不動尊霊場第 24 番札所
下野観音霊場第 9 番札所

真言宗智山派
龍頭山不動院龍泉寺

住職 植木盛雄 (高36回)

栃木県大田原市山の手 2-9-2
TEL 0287-22-2978
FAX 0287-24-2371

男子110mH 第3位 3年 別府 大空

○スポーツチャンバラ

- ・第23回栃木県スポーツチャンバラ選手権大会
団体戦 第2位
打突部門(小太刀) 第3位 2年 永井 駿斗
打突部門(小太刀) 第1位 3年 福田 悠駕

○水泳

- ・令和4年度第63回栃木県高等学校総合体育大会水泳競技大会
男子100m背泳ぎ 第2位 2年 岩本 幸大
男子200m背泳ぎ 第3位 2年 岩本 幸大
男子200m平泳ぎ 第1位 3年 岩澤 裕
男子100m平泳ぎ 第2位 3年 岩澤 裕
男子100mバタフライ 第3位 1年 阿部 匠真
- ・令和4年度第73回関東高等学校水泳競技大会
栃木県予選会
男子100m背泳ぎ 第2位 2年 岩本 幸大
男子200m背泳ぎ 第3位 2年 岩本 幸大
男子100m平泳ぎ 第1位 3年 岩澤 裕
男子200m平泳ぎ 第1位 3年 岩澤 裕
男子100mバタフライ 第2位 1年 阿部 匠真
男子400mメドレーリレー 第3位
男子800mフリーリレー 第3位

○吹奏楽

- ・第64回栃木県吹奏楽コンクール
高等学校の部B部門 金賞

【地区大会】

○剣道

- ・令和3年度栃高体連北部支部総合体育大会剣道大会 男子団体 優勝
- ・令和3年度栃高体連北部支部総合体育大会剣道大会 男子個人 優勝 2年 辻村 花道
- ・令和3年度栃高体連北部支部新人剣道大会 男子団体 優勝

○弓道

- ・令和3年度栃高体連北部支部新人弓道大会
男子団体 優勝

○バドミントン

- ・令和3年度栃木県高体連北部支部新人バドミントン大会
男子シングルス 優勝 2年 嶋村 悠

○バスケットボール

- ・令和3年度栃木県高体連北部支部総体バスケットボール大会 優勝

公益財団法人 紫塚奨学団報告

奨学団係 手塚 英雄

本紫塚奨学団は、平成26年4月1日付けで、公益財団法人紫塚奨学団として認可されました。これまで長きにわたり当奨学団の発展にご尽力いただきました多くの方々に、心より御礼を申し上げます。今後も役員一同、更なる財団の発展を目指してまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

さて、当奨学団は大正7年、多数の同窓生から寄付された財産1,850円を基金として創設されました。事業の内容は、奨学資金の貸与と給付、優良生徒の顕彰であり、基本財産が生み出す利子を主な事業資金とするものです。基本財産の充実については、創設後からの篤志寄付に加えて、昭和57年度に迎えた学校創立80周年記念事業の主たる事業として取り上げられ、同窓会の熱心なご協力をいただき飛躍的に増額されました。その後も同窓会をはじめ多数の同窓生からのご寄付をいただいております。

本奨学団では、奨学資金の貸与事業に加え、平成27年度より給付事業にも取り組んでおります。給付事業の原資は法令上、貸与事業と異にしなければならず年々減る一方にありました。しかしながら、下記の通り平成30年度に多額のご寄付をいただき、給付奨学生の人数を増やすことができました。本奨学団は公益財団法人として更なる事業の充実を視野

浅香法律事務所

弁護士 室井 淳男 (昭和55年卒)
栃木県大田原市浅香2丁目3390番地1
TEL 0287-23-8203

弁護士法人エース

弁護士 室井 涼 (平成25年卒)
東京都中央区銀座6-3-9 銀座高松ビル901
TEL 03-6625-4140

内科・小児科

鎌田浅香医院

鎌田美樹雄 (高24回)

〒324-0043 栃木県大田原市浅香3-3-9
TEL 0287-22-2703

に入れ、社会に有益となる人材の育成に力を入れていく所存であります。同窓生の皆様には、今後ともなお一層のご理解とご支援をいただければ幸いです。

◆公益財団法人紫塚奨学団役員◆

- 理事 増渕忠行 植木 淳 池嶋英哲
神島仁誓 齋藤良則 三森謙次
藤原和美 村山二郎 矢口一也
手塚英雄 (10名)
○評議員 佐藤 貴 吉岡博美 菅谷正男
大貫 晋 印南洋之 鈴木 隆
見川泰岳 加藤正樹 佐川浩一
津久井秀一 猪瀬清隆 月井祐二
田代哲郎 (13名)
○監事 荻原伸夫 池田秀敏 (2名)

◆奨学団の口座◆

○郵便局振替口座 口座番号 00350-4-11356
口座名 公益財団法人紫塚奨学団

◆お問い合わせ先◆

○係教諭 手塚 英雄 0287-22-2042 (大高)

◆奨学団ホームページ◆

https://www.murasaki-shougakudan.com/

◆公益財団法人 紫塚奨学団◆
令和 3 年度事業報告

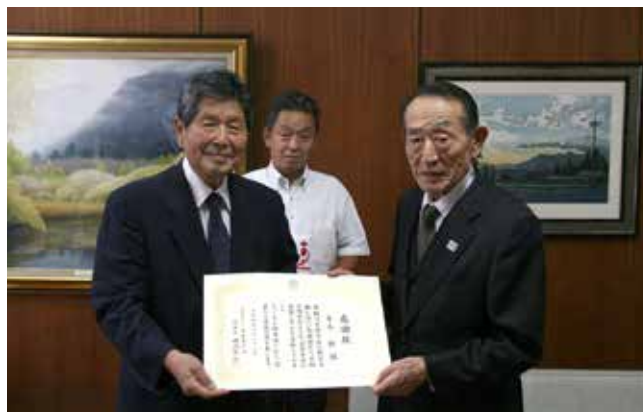
1 事業の状況

- (1) 奨学金の貸与 大学生 2名
月額 30,000円×12ヶ月×修業年限
(2) 奨学金の給付 大学生 3名
一括 400,000円
(3) 奨学団賞授与
①顕彰者 河畑 壮太 (かわばた そうた)
賞状と記念品 (懐中金時計) を授与
②3ヶ年皆勤者
65名に対して記念品 (ネクタイピン) を授与

2 寄付金に関する事項

(令和3年4月1日~令和4年3月31日まで)

Table with 2 columns: Name and Amount. Includes entries for 二ノ宮英寿 (300,000円), 橋本 忠明 (30,000円), 藤田 昌彦 (50,000円), 令和3年度卒業生 (236,000円), and a total of 616,000円.



令和4年9月、大田原高校校長室にて、青木勲様より120万円のご寄付をいただき、増渕理事長より感謝状を贈呈。

Medical advertisement for 室井病院 (Muroi Hospital) with contact information for the president, Shiro Naoki.

Advertisement for 株式会社万建設興業 (Man Construction & Industry Co., Ltd.) including services and contact details.

Advertisement for 医療法人社団 亮仁会 那須中央病院 (Nasuchuo Hospital) listing various medical departments and staff.

Advertisement for HOME ALSOX Home Security Basic, featuring 北関東総合警備保障 (North Kanto General Security Protection).

創立120周年記念事業

○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から創立110周年記念式典より来賓招待者数を大幅に減じ、また、記念事業の一環として予定していた85キロ強歩記念大会、並びに祝賀会を中止として計画を進めた。

1 創立120周年記念式典

- (1) 日時：令和4年10月21日(金)午前10時開式
- (2) 場所：本校第一体育館
- (3) 式典次第

<p>十三 閉式の辞</p> <p>十二 校歌斉唱</p> <p>十一 生徒代表挨拶</p> <p>十 来賓紹介並びに祝電祝詞披露</p> <p>九 祝辞</p> <p>八 受賞者代表挨拶</p> <p>七 感謝状・表彰状及び記念品贈呈</p> <p>六 P T A 会長挨拶</p> <p>五 創立百二十周年記念事業 実行委員長挨拶</p> <p>四 栃木県教育委員会挨拶</p> <p>三 式辞</p> <p>二 国歌斉唱</p> <p>一 開式の辞 (物故者への黙祷)</p>	<h1>式典次第</h1>
---	---------------



(4) 感謝状並びに表彰状贈呈者

感謝状贈呈者（合計57名）

① 感謝状（歴代校長 3名）

寺内 孝夫 植木 洋一 三森 謙次

② 感謝状（歴代教頭 5名）

齋藤 良則 志賀 直樹 堀江 幸雄 小池 学 藤田 昌彦

③ 感謝状（歴代事務長 5名）

大島 寿男 石川 信夫 大島 伸介 菊池 一郎 手塚 明彦

④ 感謝状（歴代同窓会長 1名）

車田 孝夫

⑤ 感謝状（歴代P T A会長 8名）

神島 仁誓 黒田 泰弘 阿久津雅之 石槻 博之 阿久津雅章

伊藤 一嘉 益子 勝之 高野 浩之

⑥ 感謝状 (校医・歯科医・薬剤師・産業医 4 名)

大柿 徹 酒井 瑞乃 井上 直紀 小林 伸久

⑦ 感謝状 (永年勤続者 19 名)

會田 孝一 仲丸 寿子 川又 勝寿 大貫与四夫 川口 晴実
鈴木 長生 後藤 尚 遠藤佐知子 磯 仁 青木 智子
高村 徳子 上野 敦士 高田 智弘 山福 直樹 大金 孝也
中山智佳司 薄井 昭博 若林 健作 渡辺 悦世

⑧ 感謝状 (各種功労者 12 名)

藤原林次郎 阿久津貞夫 相馬 肇 車田 孝夫 福原 勝美
臼井 亮平 渡邊 英憲 橋本 洋 青木 勲 二ノ宮英敏
橋本 忠明 大柿 徹 重複

親子三代表彰贈呈者 (40 組)

戸村 正夫 (高 4) 英輔 (高34) 亮輔 (高69)
高久喜子夫 (高 6) 己義 (高36) 真平 (3 年在学)
矢吹 忠久 (高 7) 典久 (高32) 丈二 (高70) 千陽 (2 年在学)
猪瀬 庫三 (高 7) 浩貴 (高37) 祥太 (高71)
稲村 宗一 (高 7) 宜之 (高40) 翔太 (高72)
藤田 実 (高 8) 範行 (高39) 広大 (高70)
八木澤久雄 (高 8) 久保 世一 (高41) 光生 (高71)
渡邊 章次 (高 9) 勝弘 (高43) 滉大 (高71)
阿久津祐一 (高10) 雅章 (高35) 雅仁 (高71)
郡司 隆 (高10) 隆文 (高39) 旭 (3 年在学)
車田 正信 (高10) 悟 (高42) 聖也 (高71)
殿生 光雄 (高10) 雄一 (高44) 星太 (高72) 昂太 (高72)
郡司 敏夫 (高11) 智巳 (高38) 光 (3 年在学)
飯村 功 (高11) 正吾 (高35) 勇作 (高69) 直希 (高74)
大島 善夫 (高11) 政夫 (高38) 遼祐 (高70)
高野洋三郎 (高13) 浩之 (高42) 淳平 (高71) 颯斗 (高74)
藤田 宗平 (高14) 圭寿 (高41) 将大 (高74)
野田 征行 (高14) 藤田 一之 (高43) 淳平 (高72) 哲平 (2 年在学)
永森 文夫 (高14) 公一 (高43) 舜也 (高73)
川又 勝美 (高14) 勝寿 (高37) 啓 (高68)
長浜 英雄 (高14) 哲也 (高41) 直輝 (高74)
花井 章 (高14) 利彰 (高42) 駆 (高74)
須藤 健治 (高15) 忠則 (高39) 豪太 (2 年在学)
成田 昌昶 (高15) 友亮 (高42) 晃啓 (3 年在学)
磯野 和夫 (高15) 智和 (高42) 佑介 (高74)

吉成歯科医院
吉成慶司 (高23回)
〒324-0234
大田原市前田 145
TEL 0287-54-2600

各種自動車販売・民間車検・石油類販売
(有)小浦モーターズ
小浦道夫 (高27回)
小浦敏夫 (高31回)
本社 大田原市佐久山 2208
佐久山 SS TEL 0287-28-0016
実取 SS TEL 0287-28-0480
車検センター TEL 0287-36-5338

季節の上生菓子
伏見屋菓子店
伏見功一 (商 1 回)
伏見雅志 (商30回)
フシミヤ
TEL 0287-23-2438
フシミヤ
FAX 0287-24-2438

関根 征夫 (高15)	達弥 (高45)	健太郎 (高73)	
手塚 順朗 (高16)	順嗣 (高43)	順超 (高74)	
二ノ宮英寿 (高16)	次郎 (高46)	右京 (1年在学)	
嶋村 大司 (高16)	健 (高48)	悠 (3年在学)	
高橋 光男 (高17)	智裕 (高50)	友悟 (1年在学)	
青木 孝夫 (高18)	孝一 (高40)	洸太 (高74)	
若目田敏之 (高18)	治之 (高43)	翔真 (高74)	
金子 登 (高18)	章 (高43)	京 (2年在学)	周 (1年在学)
石黒 純一 (高19)	八木沢和朗 (高48)	佑誠 (3年在学)	陽佑 (1年在学)
小町 隆義 (高19)	和哉 (高46)	悠人 (1年在学)	
大島 秀雄 (高19)	勇輝 (高47)	心 (高73)	
橋本 金治 (高20)	綱規 (高45)	拓人 (3年在学)	
渡邊 敏 (高22)	正樹 (高47)	悠晟 (2年在学)	
大野 太助 (高22)	津村 孫太 (高48)	壮史 (高72)	
郡司 文夫 (高22)	孝洋 (高51)	匠 (3年在学)	
松本 正 (高26)	宗士 (高52)	戸村結心 (2年在学)	

(5) 感謝状並びに表彰状贈呈者記念品



賞状ホルダー表面



朱雀窯 白磁渦文皿





クリスタルペーパーウェイト



不織布バッグ

2 創立120周年記念演奏会

- (1) 日時：令和4年10月21日(金)午後1時30分開演
- (2) 場所：那須野が原ハーモニーホール
- (3) 演奏者：東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団



3 創立120周年記念誌



4 整備事業等

(1)天体ドーム及び天体望遠鏡(固定式) 修繕、天体望遠鏡(移動式) 購入



回転、開閉機能が復活。



本体、レンズともども磨き上げられ
操作もスムーズに。

(2) トレーニング機器購入 (現在見積中)

(3) 第一体育館演台購入(校章付)



スマホ制御、デジタル撮影が可能な
高性能望遠鏡を購入。



(4) 「紫窓」(大高新聞) 特集号発行

(5) 下野新聞への創立記念特集ページ掲載



お知らせ

◆◆◆大切なお知らせ!!◆◆◆

会報郵送について

- これまで会報誌上や総会等でお知らせしてきましたように、同窓会の予算支出のなかで大きな比重を占めているのが、会報の郵送費です。その結果、次のような提案がなされて進めていくことになりました。
- 紙ベースの会報の郵送費を抑えるために、紙ベースの会報を従来通り希望するのか、あるいはホームページで閲覧するので紙ベースの会報は不要かを、会報第 47 号を送付するに際して伺います。
- ついては、紙ベースの会報を従来通り希望する方は、同封した葉書に必要事項を記載してご返送ください。なお、切手代はお支払いください。
- 紙ベースの会報が不要な方は、葉書のご返送は必要ありません。
- したがいまして、今後の会報については、葉書で紙ベースの会報を希望された方のみを送付することになります。
- また第 39 ~ 46 号に同封された葉書をすでに本部宛に発送された方は、本部で承知しておりますので、今回同封の葉書を再返送される必要はありません。
- 以上、お手数をおかけしますが、よろしくお取り扱い下さい。

◆◆◆母校支援のご寄付を!◆◆◆

- 総会や常任理事会でも度々とりあげておりますように、卒業生のさらなる減少に伴いまして同窓会入会費も少なくなり、入会費がかなりのウェイトを占めている同窓会一般会計の収入が減少しています。このため従来のような母校支援が十分に行えない状況であります。
- 同窓会員諸氏のご援助をいただいて、より一層の母校支援に役立てたいと思います。ご協力くださる方は、下記口座まで振り込みただければと思います。
- 郵便振込
口座名：栃木県立大田原高等学校内

紫塚同窓会口座記号番号:00340-0-1748

※お振り込みいただく際には

- ①ご芳名②卒業年次③電話番号
をご記載下さい。

特別年度協力金にご協力をいただいた方
【令和 3 ~ 4 年度】

一般 : 円 敬称略

NO	氏名	卒回	金額
1	紫塚 G F		64,740
2	磯 秀夫	2	50,000
	合計		114,740

☆紫塚同総会 ホームページ☆

- URL <http://www.muradou.sakura.ne.jp>
- お問い合わせご意見等はEメールにて
daiko1@mudou.sakura.ne.jp
- 同窓会報を第 3 4 号から掲載しています。



☆紫塚同総会 facebook ☆

- 紫塚同窓会HP からリンクできます。
- どなたでも発信し、どなたでも受信できるのがfacebook の利点です。
- 同窓会の広報担当を中心として、これまで以上にタイムリーに発信してまいりますので、皆さまのご協力をお願いします。



編集後記

- 今年度は新型コロナウイルスの影響を受けながらも少しずつ行事が実施できるようになってきました。ご提供いただいた写真や、本校での様子をお伝えするのに、いつもより多くの写真を掲載いたしました。今年度も多くの方のご協力によりまして、会報 47 号の発行にこぎつけました。感謝申し上げます。